

「米・パン・麺」 みんなの主食は何？

市立札幌旭丘高等学校 チーム名：チームCR 嘉屋悠月、木嶋もも菜、小橋恵

概要

SSDSE-Cというデータを使用して様々なグラフを作成し、またアンケート調査によって身近な主食消費量の割合も調べた結果、本質的な割合を調べることはできなかったが、興味深い結果が出てきた。

テーマ設定の理由

- ・日本人が何を食べているのかという研究内容に興味を惹かれた
- ・コロナの流行やウクライナ侵攻の影響を知りたかった

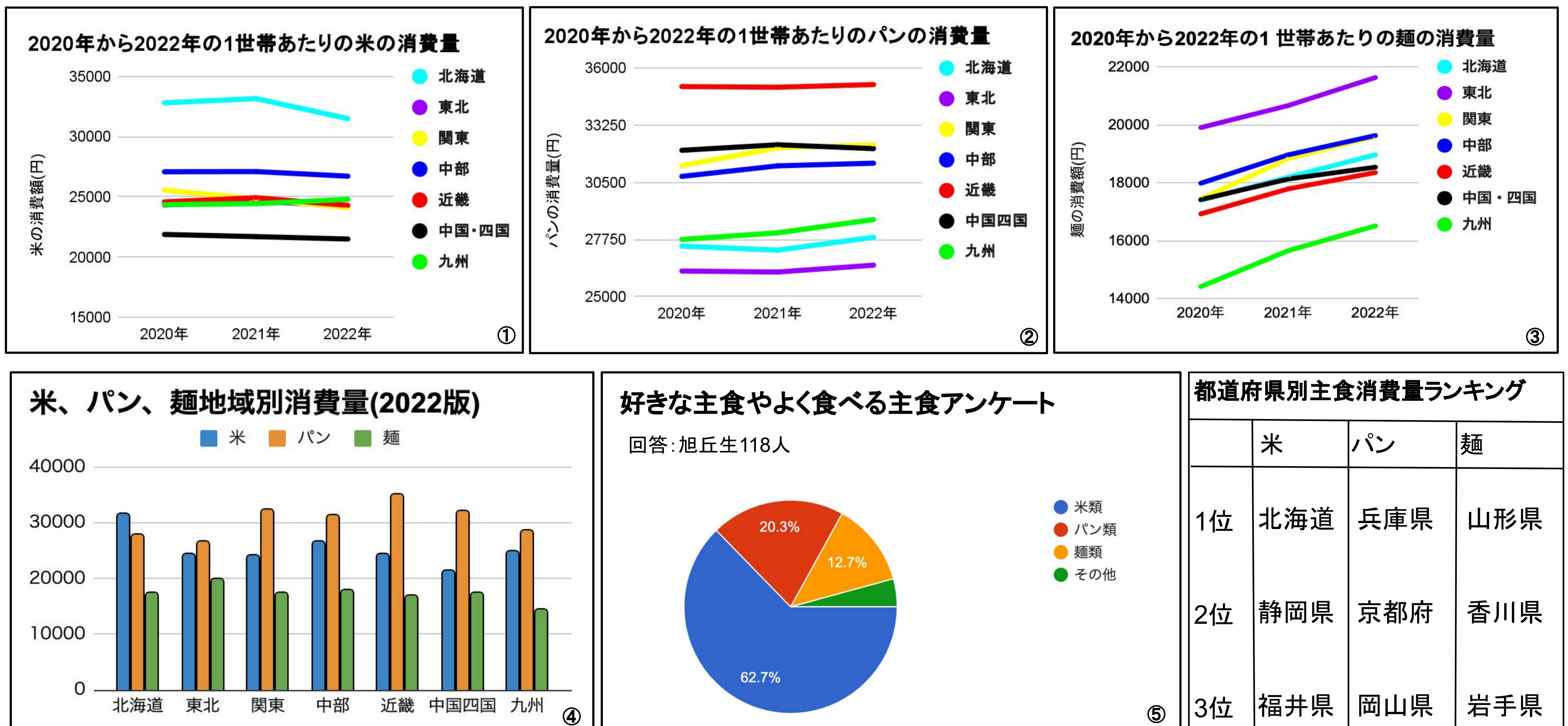
仮説

全体:米が最も多い。続いてパン、麺
 地域:・東北、関東→米多 ・関西→パン多 ・九州→偏りなし
 都道府県:・米→新潟県(生産量1位) ・パン→京都府(聞いたことがあった) ・麺→香川県(うどんで有名)
 そのほか:コーンフレーク、オートミール

方法

- ・SSDSE-C(教育用標準データセット)「家計消費」より主食消費量のグラフを作成して比較
- ・旭丘生徒によるアンケートへの回答をグラフ化・表化したものを表示
- ・総務省統計局「家計調査」から、都道府県庁所在市別、二人以上の世帯の1世帯当たり、品目別(食料の全品目)年間支出金額を収録。そのうち穀類の一部を抜粋し、諸地域の平均を使用

結果 (※「北海道」は札幌市だけのデータです。)



アンケート結果

- ・三つの主食以外に、コーンフレーク、オートミール、ヨーグルト、じゃがいもを食べている人がいた(主に朝食として)
- ・米を選んだ人に多かった理由として、「日本人だから」「家庭でよく出される」「おかずに合う」がよく挙げられていた
- ・パンを選んだ人に多かった理由は、「菓子パンがある」「準備が楽、手軽」「食べやすい」が挙げられた
- ・麺を選んだ人に多かった理由には、「種類が豊富」「食べやすい」「ラーメンやうどんなど一部の麺類が好き」があった

考察

①②③の消費量のグラフより、3年間のデータでは変動が少なく、消費量の変化を考察するには難しいが、③のみ右肩上がりの変動があり、コロナ禍でカップラーメンなどの即席麺を食べる人が多くなったと考えた。④のグラフより北海道のみ米の消費量が多く、それ以外はパンが多いことがわかる。しかし、⑤の割合と比べるとどうしても米類が少ないように感じる。これは旭丘生徒のアンケート結果であるが、「日本人だから」という理由が多かったことから全国で調査しても米が他の割合を下回ったりすることはないと考え、別の観点から、パンの単価が高い可能性に着目した。パン類には「菓子パンがある」という理由があり、菓子パンは単価が高いため、金額で消費量を表すこの統計には量が多く見えるのだろう。もし、一食にかかる金額を設定することができれば、このグラフの割合は違ったものになると予想できる。食べるのに使う金額で言えばパンが多いが、やはり単価ごとに比を設定すれば米が多い割合になると考えた。今回調べたデータだけでは、全体の本質的な主食の割合を調べることはできなかったと言える。しかし、興味深い知見が得られたと考えている。

出典

独立行政法人「統計センター」SSDSE-C(教育用標準データセット)
<https://www.nstac.go.jp/use/literacy/ssdse/#SSDSE-C>